１．鹿島市の小中学校の成り立ち

昭和２１年に「教育の機会均衡等の原則」や「義務教育」、「男女共学」などが明文化された日本国憲法が交付されました。昭和２２年には男女共学制の６・３・３・４の新教育制度が誕生し、小中学校を義務教育とし、高等学校には定時制課程や通信制過程などが認められました。

本市においても昭和２２年４月、従来の国民学校初等科が「小学校」に改められ、６つの国民学校がそれぞれ（旧）〇〇町村立小学校として再出発しました。また、戦前の高等小学校を基盤とした新生中学校が創設され、（旧）〇〇町村立中学校になり６つの中学校が誕生しています。しかし、新制中学校は自前の学校用地、校舎を持つ学校が少なく校舎を借りてのスタートとなったようです。

鹿島市発足当時（昭和 29 年市制施行）は、子どもの急増による教室不足、老朽化した校舎の改築、中学校の新築、体育館やプールの新設、また運動場などを共同使用していた施設もあり、学校運営上の課題となっていました。

学校の教育制度が始まった明治以降、長い間学校は週６日制でしたが、平成４年９月から毎月１回土曜日を休日とする学校週５日制が始まり、平成７年４月には月２回の土曜日が休日となり、平成１４年４月から土曜日を全て休日とする完全学校週５日制へと移行しています。

鹿島小学校		
明治 18 年	1885 年	高津原、重ノ木、納富分の 3 小学校を合併、現在地に校舎を新築
明治 34 年	1901 年	南鹿島尋常小学校と改称
大正元年	1912 年	町制施行により、鹿島町尋常小学校と改称
昭和 16 年	1941 年	鹿島町国民学校と改称
昭和 22 年	1947 年	新学制実施により、鹿島町小学校と改称
昭和 29 年	1954 年	鹿島市制施行により、鹿島市立鹿島小学校と改称
平成元年	1989 年	新設小学校を明倫小学校と発表

明倫小学校		
昭和 60 年	1985 年	鹿島小学校規模適正化推進協議会発足
平成元年	1989 年	鹿島第二小学校(仮称)起工
平成 2 年	1990 年	明倫小学校として条例制定
平成 3 年	1991 年	明倫小学校開校

能古見小学校		
明治 25 年	1892 年	⑴尋常知心学校⑵尋常勿謂小学校⑶本城簡易小学校⑷山浦簡易小学校⑸平原簡易小学校を一括して能込尋常小学校と改称
明治 31 年	1898 年	現在地(元中学校跡地)に校舎を新築、旧知新、勿謂は本校へ 浅浦・本城・山浦・広平・平原校は分校とする
昭和 24 年	1949 年	本城分教場増築落成
昭和 26 年	1951 年	山浦分校新築落成
昭和 22 年	1947 年	新学制実施により、能古見小学校と改称
昭和 29 年	1954 年	鹿島市制施行により、鹿島市立能古見小学校と改称
昭和 56 年	1981 年	新校舎建築。山浦分校、中川内分校、本城分校の 3 分校廃校
平成 30 年	2018 年	浅浦分校 閉校

北鹿島小学校		
明治 7 年	1874 年	下等常廣小学校を神明宮社務所に設置
明治 8 年	1875 年	下等森小学校を森五ノ宮社務所に設置
明治 13 年	1880 年	乙丸に下等乙丸小学校を新築
明治 20 年	1887 年	古城校舎を新築し、常廣分校を廃止
昭和 22 年	1947 年	新学制実施により、鹿島村立鹿島村小学校と改称
昭和 29 年	1954 年	鹿島市制施行により、鹿島市立北鹿島小学校と改称

古枝小学校		
明治 8 年	1875 年	八本木小学校古枝分校を光明院に設置し下等小学校を置く
明治 14 年	1881 年	中尾分校設置（下等小学校）
明治 18 年	1885 年	古枝・中尾の両分校を合わせ 1 分校とし、上古枝に新築し浜小学校古枝分校と称して初等小学校を設置
明治 28 年	1895 年	古枝尋常小学校と改称
明治 30 年	1897 年	古枝校に校舎新築落成、浜小学校に委託していた児童を収容
昭和 22 年	1947 年	新学制実施により古枝小学校と改称
昭和 29 年	1954 年	鹿島市制施行により、鹿島市立古枝小学校と改称
昭和 47 年	1972 年	奥山分校を本校に統合

浜小学校		
明治 6 年	1873 年	新町幽照寺にて教育開始
明治 8 年	1875 年	校舎を新町に新築、郡一の小学校の体裁になり、古枝村光明寺に分校を設置
明治 11 年	1878 年	八本木小学校と改称し、下等上等小学校を置く
明治 13 年	1880 年	浜小学校と改称し、上古枝に浜小学校古枝分校を置く
明治 28 年	1895 年	浜尋常小学校と改称し和田分校を廃止
昭和 22 年	1947 年	浜小学校と改称
昭和 29 年	1954 年	鹿島市制施行により、鹿島市立浜小学校と改称

七浦小学校		
明治 7 年	1874 年	飯田村伊福玉泉寺、飯田円徳寺を仮校舎として小学校創設。音成村音成福泉寺に東校、母ヶ浦宝聚寺に西校舎創設。
明治 19 年	1886 年	伊福、飯田両校を合併して遂良小学校と改名、音成小学校を尋常昭文小学校と改名
明治 37 年	1904 年	飯田、音成尋常小学校を合併して七浦尋常高等小学校成立
明治 41 年	1908 年	奥山尋常小学校を奥山分教場となす
昭和 22 年	1947 年	七浦村立七浦小学校と改称
昭和 30 年	1955 年	町村合併により鹿島市立七浦小学校と改称。伊福分教場は太良町に併合、飯田分校は太良町立伊福分校となる。
昭和 33 年	1958 年	奥山分教場は古枝小学校の分校となる
平成 2 年	1990 年	音成分校落成

西部中学校		
昭和 22 年	1947 年	能古見中学校、鹿島中学校、鹿島村中学校発足
昭和 29 年	1954 年	鹿島市立能古見中学校、鹿島中学校、北鹿島中学校へ改称
昭和 50 年	1975 年	能古見、鹿島、北鹿島の 3 中学校を統合し、鹿島市立西部中学校と改称

東部中学校		
昭和 22 年	1947 年	古枝中学校、浜中学校、七浦中学校発足
昭和 29 年	1954 年	鹿島市立古枝中学校、浜中学校、七浦中学校へ改称
昭和 35 年	1960 年	3 中学校を統合し、鹿島市立東部中学校へ改称、それぞれ古枝校舎、浜校舎、七浦校舎となる
昭和 37 年	1962 年	新校舎第一期工事落成、古枝校舎生徒を浜校舎に収容
昭和 39 年	1964 年	新校舎第二期工事落成
昭和 40 年	1965 年	浜・七浦両校舎完全統合